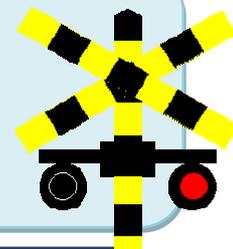


踏切の正しい渡り方しゅっちゅう？

鉄道版交通安全教室 開催！



平成30年2月19日(月) 高知県高知市の『愛育会保育園』において「鉄道版交通安全教室」を開催しました。本年度は実行委員を高知支部青年女性会議で構成し、園児約200名の前で、踏切の渡り方や列車は急には止まらないことを伝えました。

この活動は、青年女性組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリハットの経験を教訓に「子供が列車にはねられた事故」ではなく、「自分たちの仲間が、跳ねざるを得なかった事故」として捉え、このような痛ましい事故が今後二度と起こらないように、青年女性会議が主体となり、ボランティア活動の一環として平成15年から毎年継続して企画・開催しているものです。

実行委員が演じる幼稚園児、しげちゃんとひろみちゃんが線路の近くでの危ない行動を通じて鉄道に潜む危険性や正しい踏切の渡り方などを伝えました。

「線路に近づくなの巻」、「列車は手を挙げても止まらないの巻」の2部構成で行い、劇が始まると、園児たちは、楽しそうに劇を見てくれて、アンパンマン列車が登場すると歓声も上がり、非常に明るい雰囲気で行うことができました。今回の出来事がきっかけで踏切を渡る時に、今までよりほんの少しでも気を付けて渡るようになってくれたり、鉄道というものが今までよりも身近に感じてくれたら非常にうれしいと感じました。

後半は、園児の皆さんと一緒に踏切を渡る練習をしました。みんな前半の劇で学んだことをしっかり生かして、渡る前には「右よし！左よし！前よし！」ときちんと言ってから渡ってくれました。

初めてかぶるJRの制帽に、はしゃいでいる子どもも多く、短い時間ではありましたが、名残惜しさもあり、最後は園児みんなとハイタッチをしてお別れしました。

当日は、スムーズに進められるか不安もありましたが、劇の最中や踏切を渡る練習の際には、子ども達は真剣な表情や楽しそうな表情を見ることができました。私たちの問いかけにも大きな声で答えたり、元気な声が園内に溢れました。実行委員も大勢の子ども達と触れ合う事で楽しいひと時を過ごすとともに、鉄道で働くものとしての使命感や自分たちの職責の重要性を改めて感じました。



愛育会保育園のよいこの皆さん！

ありがとうございました！

開催中のコマ



実行委員の皆さん



お疲れさまでした！